

学校経営等の概要

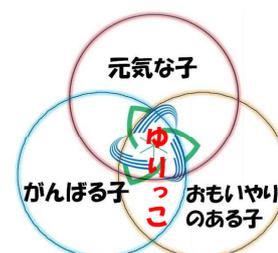
ゆり支援学校の目指す学校像

地域と共に歩み、地域で育ち、地域に必要とされるゆり支援学校

【教育目標】

児童生徒一人一人の生命及び人権を尊び、障害の特性や状態、発達段階に応じた適切な教育を行い、その可能性を最大限に追求して**自立と社会参加**を目指すとともに、**明るく豊かな心**をもった人間を育成する。

【目指す子ども像】



1 児童生徒が主役の学校づくり

学校が楽しい場所であり、毎日学校を楽しみにして登校できるように取り組みます。

- ①安心できる居場所になるような信頼関係づくり
- ②仲間との絆が感じられる活動の工夫
- ③挑戦できる課題がある学習活動の工夫

2 重点事項

- (1) 児童生徒の減少の中、本校と連携して教育活動（高等部や音楽部との交流や諸行事での教員の協力体制）を進めます。
- (2) 児童生徒の思いや願いを複数の教員で確かめながら、教育的ニーズに応じた指導を充実させます。
- (3) 授業づくり検討会や教材・教具研修会等を通して、教員の専門性を高めるとともに、教材の工夫などについて他校に発信します。
- (4) 学校創立20周年記念事業を通して、地域との関わりを深め、本校の教育や子どもたちへの地域の理解を深めます。
 - ・岩城小学校との交流や出前授業を通じた道川分教室の児童生徒への理解の推進
 - ・地域の理解を促進するためのミニ学校展やホームページなど、情報発信の工夫

4 概要（道川分教室）

（1）児童生徒

小学部： 1名（4年1名）
中学部： 3名（3年3名）
高等部： 4名（2年2名、3年2名）
計： 8名

（2）教職員

総数：10名 ※教頭1名、小・中学部4名、高等部：5名

（3）教育課程

- ①自立活動を主とした教育課程編成
- ②週単位時間：小・中学部＝週14単位時間、高等部＝週14単位時間
（摂食指導のある生徒は週16単位時間）

（4）授業時間

Iの時間 9：45～10：35（50分間）
IIの時間 10：45～11：30（45分間）
IIIの時間 11：40～12：25（45分間）
IVの時間 14：15～15：00（45分間）

（5）沿革

- ・平成16年度「独立行政法人 国立病院機構 あきた病院」内に設置している。
- ・対象児童生徒はあきた病院重症心身障害児（者）病棟に入院しており、訪問教育として実施している。
- ・平成22年度の秋田養護学校閉校に伴い、ゆり養護学校に移管され「ゆり養護学校道川分教室」となる。
- ・平成25～27年度、文部科学省委託特別支援学校機能強化モデル事業「特別支援学校ネットワーク構築事業」を推進した。
- ・平成28年度学校名が「秋田県立ゆり支援学校道川分教室」となる。
- ・秋田県教育委員会インクルーシブ教育システム構築推進事業の推進
平成28～29年度「病弱・肢体不自由教育支援事業」
平成30年度「病弱・肢体不自由教育推進事業」
平成31年度「病弱・肢体不自由教育中・高連携推進事業」

（6）特色

- ①病院内訪問教育として学習指導を行っている。
- ②重度・重複障害教育の充実を図っている。自立活動を中心とした教育課程を編成し、個に応じた指導を通して、発達の可能性を追求している。そのための教材・教具の開発やICTの活用を積極的に進め、情報発信に努めている。
- ③県内外の病弱教育のネットワーク構築に協力している。東北及び全国の病弱虚弱教育研究連盟に加盟して情報収集に努めている。また、県内の病弱・身体虚弱特別支援学級や県内各特別支援学校のニーズに応じた情報提供や支援を行っている。